

人へ
未来へ
まっとうな政治へ



西村ちなみ

立憲民主党 代表代行
兼 ジェンダー平等推進本部長
新潟1区選出衆議院議員

立憲民主党演説会

弁士 西村 ちなみ

2023年11月12日(日)

時 間：13：30開場 14：00開演
会 場：高岡商工ビル 2階ホール
参加費：無料



富山の衆院候補予定者と街宣する西村氏



時代遅れの「人に冷たい政治」から 「人を大事にする政治」への転換を

【実質賃金指数の推移】

年	月	現金給与総額		
		2020平均=100	前年比 %	
2020年		100.0	▲1.2	
2021年		100.6	0.6	
2022年		99.6	▲1.0	
2022年	4月	87.1	▲1.7	
	5月	85.2	▲1.8	
	6月	139.0	▲0.6	
	7月	115.0	▲1.8	
	8月	85.1	▲1.7	
	9月	83.7	▲1.2	
	10月	82.8	▲2.9	
	11月	86.5	▲2.5	
	12月	170.1	▲0.6	
	2023年	1月	82.5	▲4.1
		2月	81.4	▲2.9
		3月	87.4	▲2.3
4月		84.3	▲3.2	
5月		84.4	▲0.9	
(速報) 6月		136.8	▲1.6	

厚生労働省「毎月勤労統計調査結果」より



政府は国民の声に耳を傾けよ

今年1月、政府・日銀は「物価高は今年の後半に収まる」としていました。収まるどころか、ますます厳しくなる一方の国民生活。政府は、直ちに手を差し伸べるべきです。

【女性が求める少子化対策】

賃金の上昇	33.4%
教育費の無償化・支援の拡大	30.0%
出産・子育てに対する公的支援の強化	28.2%
雇用・勤務形態の改善	23.7%
託児所や保育所の整備・拡充	18.7%
事実婚や婚外子を認める法律の整備	8.2%

※日本財団の1万人調査による。2つまで回答可

実効性のある少子化対策を

少子化・人口減少が進行し、富山県の人口が100万人を割るのは時間の問題です。これまでの「人に冷たい政治」の結果と言えますが、子育て施策の抜本的な充実が喫緊の課題です。

今の保険証の存続を

国民の大多数が反対しているにもかかわらず、政府は今の保険証の廃止を強行しようとしています。トランプ大統領のマイナンバーカードへの統合を急ぐ必要はありません。



【男女平等の世界的な順位】

2023年	2022年	国名
1位	1位	アイスランド
2位	3位	ノルウェー
3位	2位	フィンランド
6位	10位	ドイツ G7首位
12位	6位	ルワンダ
16位	19位	フィリピン アジア首位
43位	27位	アメリカ
57位	94位	ブラジル
105位	99位	韓国
107位	102位	中国
125位	116位	日本 G7最下位
127位	135位	インド
131位	127位	サウジアラビア
146位	146位	アフガニスタン 全体最下位

世界経済フォーラム 男女格差報告



ジェンダー平等は全世界の潮流

女性の生きやすさは、国や地域の活性化につながります。国際的な調査で、日本は男女の平等さが世界各国の中で低位に甘んじています。女性を大切にしない政治を変えることが求められています。

【2021年上位12カ国の軍事費】

順位	国別	軍事費 (名目・百万US\$)	GDP比 (%)	世界シェア (%)
1	アメリカ	800,672	3.48	38.55
2	中国	293,352	1.74	14.12
3	インド	76,598	2.66	3.69
4	イギリス	68,366	2.22	3.29
5	ロシア	65,908	4.08	3.17
6	フランス	56,647	1.95	2.73
7	ドイツ	56,017	1.34	2.70
8	サウジアラビア	55,564	6.59	2.68
9	日本	54,124	1.07	2.61
10	韓国	50,227	2.78	2.42
11	イタリア	32,006	1.52	1.54
12	オーストラリア	31,754	1.98	1.53

ストックホルム国際平和研究所調査

防衛費は聖域なのか

政府は、なんの根拠もなく防衛費を5年でGDP比2%、43兆円を達成すると息巻いています。国民生活無視で軍需産業を潤す増税は許せません。

